

3. ヒアリング調査概要

(1) 調査対象

アンケートでヒアリングに協力可能と回答いただいた方の中から、在留資格、在日期间、識字・日本語教室の学習経験等を踏まえて候補者を選定し、最終的に4名の方に協力いただいた。参加者の概要は以下のとおりである。

	国籍	在留資格	在日期间	識字・日本語教室での学習経験
Aさん	中国	永住者	20年	有
Bさん	中国	留学	5年	無
Cさん	中国	技術・人文知識・国際業務	1年	有
Dさん	ベトナム	技能実習	4年	無

(2) 調査方法

オンラインにて、グループインタビューを行った。インタビューにあたってはやさしい日本語を使用した。

(3) 調査時期

令和4年2月4日（土）

4. ヒアリング調査結果

(1) 来日前の日本語学習

- ・ 来日前はあまり日本語を勉強しておらず、「あいうえお」が分かる程度だった。(Aさん)
- ・ 来日半年前にインターネットを使って独学で日本語を学んだ程度である。(Bさん)
- ・ 日本に来る前に、中国の大学で4年間日本語を学んだ。4年生の時は、オンラインで日本人と1対1で勉強した。(Cさん)
- ・ 研修センターで半年間日本語を学んだ。(Dさん)

(2) 来日初期の困りごと、困ったときの相談相手

① 困りごと

(Aさん)

- ・ 来日初期は電車に乗ることができなかった。今は中国語表記もあることが多いが、当時はなく、電車に乗るときは、メモに漢字で降りる駅を書いて、周りの人に見せたり、ジェスチャーで伝えたりしていた。
- ・ 買い物をするときに困った。中国と食文化が違うので、日本の食材をどのように調理したらよいか分からなかった。

(Bさん)

- ・ 銀行口座の開設、住まい探し、電気・ガス・水道の開設など、生活に関するあらゆることで困った。訪問販売が来て、よくわからずに受け取ってしまったことがある。
- ・ 日本語学校で1年間日本語を学んだ後、大学に進学したが、関西弁がわからず、困った。日本語ができるようになったと思っていたのに、がっかりした。

(Cさん)

- ・ 中国の大学で日本語を勉強していたが、最初は電話対応や敬語など、ビジネス日本語ができず、仕事が全然うまくいかなかった。

(Dさん)

- ・ 日本語がわからず仕事で困っている。

② 相談相手

(Aさん)

- ・ 困ったときは、アルバイト先の中国人の先輩に相談していた。

(Bさん)

- ・ 困ったときは、中国人留学生向けの情報サイトで調べたり、Google 翻訳を使って調べたりした。日本人学校の先生も丁寧に教えてくれた。

(Cさん)

- ・ 役所に行ったときに、「暮らしサポート窓口」という名前の窓口を見つけて、生活の相談にのってくれるところだろうと思い、相談に行った。その他、会社の先輩がやさしく、困ったときは相談している。

(Dさん)

- ・ 辞書で調べたり、会社の先輩に聞いたりしている。監理団体にベトナム語の分かる人がいるが、会社の先輩がやさしいので、監理団体に相談することはあまりない。

(3) 来日初期の日本語の学習方法

(Aさん)

- ・ 理系の大学進学を目指して日本語学校で日本語を勉強していたが、日本語学校の勉強だけでは足りず、専門学校に進学した。専門学校の授業は、一方通行であまり理解ができなかった。
- ・ 区役所で日本語教室のチラシをみて、週 1 回か 2 週間に 1 回日本語教室に通っていた。1 年ほど通った。

(Bさん)

- ・ 大学進学を目指して、日本語学校で 1 年間日本語を勉強した。大学入試のためには、日本語の勉強が足りないと思ったので、日本人の家庭教師に教えてもらった。日本語学校でも面接や小論文の対策はあるが、時間が限られている。

(Cさん)

- ・ 大阪国際交流センターの日本語教室や吹田市国際交流協会のオンライン教室、大阪市内の複数の日本語教室に通っているほか、自分で探した日本語教師2人に教えてもらっている。
- ・ マンションの入り口で、大阪国際交流センターの外国人相談窓口の案内を見つけて、大阪国際交流センターに行ったところ、当センターの日本語教室や吹田市の日本語教室のチラシがあり、その存在を知った。それ以外の日本語教室は、大阪国際交流センターの日本語教室で出会った人に教えてもらったり、インターネットで調べたりして見つけた。

(Dさん)

- ・ 仕事が忙しく、来日して1年程は日本語を勉強できていなかった。最近は、毎日仕事が終わった後に1時間ほど本やインターネットを使って独学で勉強している。その他、分からない言葉は会社の先輩に聞いて覚えている。

(4) 日本語レベルが高い人の現在の困りごと

(Aさん)

- ・ 職場など日本人同士の会話はスピードが速いので、会話についていくのが難しい。仕事の話であれば分かるが、日本のドラマや歌などの日本文化に関する話のときは困ることが多い。
- ・ PTAや近所の人と話すときも、どのような話題がでてくるのか分からないので、話をするときはとても緊張する。
- ・ カタカナの言葉は苦手である。例えば、インフルエンザが最初は分からなかった。特に新しいカタカナの言葉は苦手である。

(Cさん)

- ・ 日本文化をもっと知りたい。例えば、野球のことが分からなかった。
- ・ 若者文化や若者言葉が分からない。日本人の若者とは壁があるように感じている。

(5) 日本語レベルが高い人の現在の日本語の学習方法

(Aさん)

- ・ アプリで日本語の単語や文法を勉強している。日本語能力試験向けのアプリである。

(Bさん)

- ・ 今はあまり日本語を勉強しているという意識はない。大学院の勉強の中で日本語を使っている。

(Cさん)

- ・ 仕事の場面で分からなかった言葉は、その時に聞くようにしている。同じ言葉でも場面によって意味が異なってくる。

(6) 読み書きで困ったこと

(Bさん)

- ・ 役所からもらった書類は分からないことが多い。

(Cさん)

- ・ 年金、健康保険、年末調整の書類などは何度みても難しい。国際交流センターに相談に行っている。

(Dさん)

- ・ 書くことは難しい。毎日、仕事の終わりに日報を書いており、それを先輩に直してもらっている。
- ・ 読み書きは1人で勉強できないので、勉強したい。もっと日本語を読めるようになって、いろいろなことを知りたい。

(7) 学びたい日本語、希望する学習方法

① 学びたい日本語

(Aさん)

- ・ 難しい日本語でなくてよいので、日常会話を練習できる場があるといい。

(Bさん)

- ・ 日本語の基礎は日本語学校で教えてもらったので、学んだ日本語を使う場面があるといい。日本人と交流できる場があるといい。大学の授業もオンラインなので、日本人と話す機会が少ない。
- ・ 演劇を学んでいるが、演劇では互いにコミュニケーションをとることが多く、ジェスチャーで伝わることも多い。演劇やダンスなどを通じて、日本語を学べる機会があるといい。

(Cさん)

- ・ 同じ年代の若い人と会話する機会がほしい。
- ・ ハイキングや美術館、博物館などに行って学ぶ機会があるといい。

② 希望する学習方法

(Aさん)

- ・ 勤務先が市外なので平日は時間がとりにくい。オンラインの日本語教室があれば参加したい。妻も日本語教室に通っていたが、参加する時間がなかなかとれず、参加したくても参加できなかった。オンラインであれば、移動時間がかからないので、参加しやすい。

(Bさん)

- ・ 対面でもオンラインでも構わない。

(Cさん)

- ・ 対面、オンラインどちらもメリット、デメリットがある。対面だと表情やジェスチャーで伝えることができるという点ではよいし、オンラインだとコロナ感染者の対策という点ではよい。

(Dさん)

- ・ オンライン授業があったら絶対に参加したい。インターネットでは質問ができない。残業があるので、平日の夜8時からか、土日がよい。

(8) 識字・日本語教室のよいところ、改善してほしいこと

① よかったこと

(Aさん)

- ・ 1対1で話すことができ、日本語の会話がとても上達した。日本語を話す自信もついた。また、相談にもよくのってもらい、聞きたいことを全部相談していた。

② 改善してほしいこと

(Aさん)

- ・ 当時、日本語教室の数が少なく、遠くの日本語教室まで通っていた。電車代を出す余裕がなかったので、バイクで30分かけて通っていた。遠い教室に通っていたので、アルバイトやさまざまな用事で行けないことも多かった。

(Cさん)

- ・ 外国人に日本語教室があることをもっと知らせてほしい。
- ・ 日本語教師は外国人に教える方法を知っているが、ボランティアはそうではない。ボランティアは別の表現などを教えてくれない。
- ・ ボランティアは40代、50代などが多く、若者文化、若者言葉を教えてもらえない。若者と会話する機会がほしい。
- ・ 友人の話だが、1対2で日本語を教えてもらったが、1人の外国人の日本語レベルが低く、上級者にとっては勉強にならなかったとのことである。

(9) 識字・日本語教室を知ってもらうための方法

(Aさん)

- ・ 日本語教室を知る方法として、区役所のチラシか友人からの紹介くらいしかなかったのですが、日本語教室のスケジュールや学習内容などを記載したアプリがあるといい。日本語教室のアプリがあれば、ダウンロードして、日本語教室を調べることができる。

(Bさん)

- ・ Instagramはみているので、Instagramで宣伝してもらえればみるかもしれない。
- ・ 区役所に手続きに行った際に、チラシを渡してもらうのもよいと思う。

(Cさん)

- ・ 外国人の多いマンションに案内を配ったり、外国人の働いている会社に宣伝したりするのがよい。

(Dさん)

- ・ 外国人の働いている会社にチラシを配るのがいいと思う。

(10) 子どもの日本語学習、支援してほしいこと

① 子どもの日本語学習

(Aさん)

- ・ 子どもが来日時、日本語が話せなかったのですが、小学校に日本語の先生が週1回来てくれたが、1年間だけだった。特に社会と国語が苦手で、現在は塾に行かせて国語を勉強させている。自分も正しい日本語を使えているか分からないので、子どもに日本語を教えるのは難しい。
- ・ 保護者は算数であれば教えられるが、社会などその他の教科を教えることは難しい。教科書に書いてある内容は分かるが、教科書に載っていない内容は分からない。子どもに質問された際には、スマホで調べて答えているが、毎回するのは手間である。

② 支援してほしいこと

(Aさん)

- ・ 学校で日本語を学べる期間が 1 年間だけでは少ないので、もっと増やしてほしい。また、他の子どもが体育や図工の時間に、外国人の子どもが日本語を学ぶ形となっているが、外国人の子どもとしては他の子どもと一緒に授業に受けたいという思いがあるので、放課後などに日本語を勉強できる形にしてくれるとありがたい。
- ・ 学校以外に日本語を学べるところがないので、子どもの日本語教室があるといい。時間帯としては仕事のある保護者でも送迎ができる土日か、平日の夜がよい。
- ・ 未就学の子どもがおり、1 人で家に置いておくわけに行かないので、できれば未就学の子どもも連れていける場所だとよい。